

## 埼玉県職員採用向け 埼玉県5か年計画～日本一暮らしやすい埼玉へ～ テキスト版

### 【冒頭挨拶】0分0秒から1分18秒

任用審査課 豊泉主任

- こんにちは、本日は埼玉県職員の仕事に関心のある方々に対して、埼玉県の今後の方向性を伝え、県の仕事を理解していただき、県職員に興味を持っていただくために、令和4年度から新しくなった埼玉県5か年計画についてご説明できればと思います。
  
- 最初に本日の説明者についてご紹介いたします。
  
- 埼玉県企画財政部計画調整課 竹内課長。

計画調整課 竹内課長

☆ はい、よろしくお願いいたします。

任用審査課 豊泉主任

- 埼玉県企画財政部計画調整課 杉下主査です。

計画調整課 杉下主査

□ よろしくお願ひいたします。

任用審査課 豊泉主任

○ 埼玉県企画財政部計画調整課 吉田主査です。

計画調整課 吉田主査

◇ よろしくお願いいたします。

任用審査課 豊泉主任

○ 司会進行している私は埼玉県人事委員会事務局任用審査課採用試験担当の豊泉と申します。

○ どうぞよろしくお願いいたします。

### **【五か年計画総論】1分19秒～4分48秒**

任用審査課 豊泉主任

○ それでは本題に入りますが、そもそも5か年計画とはどのようなものなのか、竹内課長ご説明をよろしくお願いいたします。

計画調整課 竹内課長

☆ 5か年計画とは、埼玉県が目指す将来像と今後5年間に取り組むべき施策を明らかにした「県政運営の基礎」となる計画です。

☆ 令和4年度からは、新たな5か年計画「日本一暮らしやすい埼玉へ」に基づき、目指す将来像の実現に向け、施策を展開してまいります。

- ☆ 埼玉県は、今、時代の大きな転換点に差し掛かっています。その中でも最大の課題は、人類が経験したことのない超少子高齢社会への対応です。埼玉県の人口は、まもなく減少に転じ、全国で最も速いスピードで後期高齢者が増加する見込みです。
- ☆ また、災害の激甚化・頻発化、新型コロナウイルス感染症の拡大が未曾有の危機をもたらす一方で、その危機への対応がデジタル技術の活用を飛躍的に拡大・浸透させ、新たな社会生活への変革が進む契機にもなっています。
- ☆ このような時代の転換点に立つ埼玉県が新たなスタートダッシュを切れるよう、時代の潮流や環境変化などに適切に対応し、計画の副題の「あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会」である「日本一暮らしやすい埼玉へ」を実現するための計画となっております。
- ☆ さらに個別計画におきまして、5か年計画を踏まえた、子育てや産業などの各行政分野で具体的に実施する取組や手法等を定めております。
- ☆ 5か年計画の全体構成ですが、まず「時代の潮流」として、埼玉県が置かれている社会経済情勢や時代の流れを展望し、進むべき針路を明らかにするため、2040年を見据え、3つの将来像「安心・安全の追究（レジリエンス）」、「誰もが輝く社会（エンパワーメント）」、「持続可能な成長（サステナビリティ）」を掲げました。
- ☆ そして、将来像の実現に向けた基本姿勢といたしまして、全施策を貫く横断的な視点を示しております。
- ☆ さらに、将来像の実現に向けて、時代の潮流に的確に対応するための方向性を、政策分野ごとに「12の針路」として示しました。

☆ その上で、「54の分野別施策」として、針路ごとに取り組むべき施策を示し、その達成水準を分かりやすく、かつ客観的に示すため、全ての施策に数値目標である施策指標を設定しています。

☆ 最後に、「地域別施策」として、各地域の特性を踏まえて取り組む施策を整理しました。

### **【時代の潮流】4分49秒～7分58秒**

任用審査課 豊泉主任

○ ありがとうございます。

先ほど「時代の潮流」では、社会経済情勢や、時代の流れを展望すると伺いましたが、埼玉県はどのような状況に置かれているのか。

吉田主査、ご説明をお願いいたします。

計画調整課 吉田主査

◇ 計画では、時代の潮流を大きく6つの項目でまとめています。

◇ まず、人口減少と人口構造の変化です。

◇ 埼玉県の人口は、国勢調査の開始から令和2年まで一貫して増加し、全国で5番目に多い約735万人となりました。

◇ しかし、埼玉県が行った将来人口推計では、令和7年までの間に人口減少に転じ、令和22年（2040年）に

は、700万人を下回ると予測しております。

- ◇ 一方で、65歳以上の高齢者は、2040年までに約230万人まで増加し、県民の3人に1人が高齢者となることが見込まれています。
- ◇ 続いて、身近に迫る脅威です。
- ◇ 今後、地球温暖化に伴う気候変動により、自然災害は更に激甚化・頻発化することも予想されています。
- ◇ 埼玉県においても、令和元年東日本台風の影響により記録的な大雨となり、甚大な被害が生じました。
- ◇ また、マグニチュード7クラスの首都直下地震が、今後30年以内に約70%の確率で発生し、埼玉県においても大きな被害が生じることが予測されております。
- ◇ そして、新たな脅威として、令和2年の年明けから新型コロナウイルス感染症が世界を席卷し、私たちの日常と経済社会活動の在り方そのものに多大な影響を与えました。
- ◇ また、社会のデジタル化の進展により、私たちの生活はより便利で豊かになる一方で、サイバー攻撃の脅威も増えています。
- ◇ 3つ目。経済と雇用の回復に向けてです。

- ◇ 充実した広域道路網や鉄道網を有し、交通の要衝としての優位性を持つ埼玉県には、県外から数多くの企業が転入し、令和2年までの10年間の企業転入超過数は全国1位となりました。
- ◇ しかし、新型コロナウイルス感染症による未曾有の経済停滞にさらされました。
- ◇ 本県の持つ優位性を更に生かし、停滞した経済を回復させるとともに、ポストコロナを見据えた経済構造、成長モデルへ転換を進めていくことが課題となっております。
- ◇ その他にも、「カーボンニュートラルに向けた動き」や「新たな社会への進展」、「充実していく交通ネットワーク」についてもまとめております。

### **【全施策を貫く横断的な視点】7分59秒～9分25秒**

任用審査課 豊泉主任

- ありがとうございます。将来像の実現に向けた基本姿勢として、全施策を貫く横断的な視点を示すと伺いましたが、どのようなものなのか、吉田主査お願いできますでしょうか。

計画調整課 吉田主査

- ◇ はい、「将来像の実現に向けた基本姿勢」として2点掲げています。
- ◇ 1点目は「埼玉版SDGsの推進」です。部局横断的に全庁が一丸となってSDGsの視点で施策の展開を図ります。

- ◇ 今回の5か年計画では、新たに全施策にSDGsの基本理念やゴールをリンクさせています。
- ◇ そして、県民、企業なども巻き込んで、SDGsに関する好事例を横展開するなど、全県的な推進体制を構築していきます。
- ◇ 2つ目は、「新たな社会に向けた変革」です。
- ◇ テレワークをはじめとした新しい働き方・暮らし方は、感染症が収束したポストコロナにおいても更なる定着・加速が求められています。
- ◇ また、様々な社会課題解決に向け、新しいサービスや価値が生み出される「デジタルトランスフォーメーション」を実現し、新たな社会を快適で豊かな、真に暮らしやすいものへと変革していきたいと考えております。

#### **【仕組みや体制づくり】9分26秒～11分8秒**

任用審査課 豊泉主任

- ありがとうございます。目指す将来像を実現するため、仕組みや体制づくりなども重要だと思うんですけども、そのことについて、杉下主査ご説明をお願いいたします。

計画調整課 杉下主査

- 新たな5か年計画では、計画の効果が最大限に発揮されるように仕組みを4つの項目でまとめております。
- まず1つ目、「合理的根拠に基づく施策立案」になります。

ここで、資料にEBPMと書いてありますが、これはエビデンス・ベースト・ポリシー・メイキングの略称となっております。この図に書いてあるとおりでありますが、客観的データなどのファクトに基づきまして、現状を様々な角度で分析をしまして、課題をまず把握します。そして課題解決に必要な証拠について、どのような手法を用いてどのように実施すれば成果が出るのか、これをエビデンス（合理的根拠）ですね、に基づいて確認・検証しながら、効果的な施策の立案を行ってまいります。

- このEBPMの手法を活用することで、施策の有効性を高めて、県民の行政への更なる信頼確保を図っていきます。
- 次2つ目になります。「施策評価」です。こちらは分野別施策ごとに数値目標を設定して、その評価の結果を踏まえて予算などに反映するPDCAサイクルを着実に推進をしてきます。
- 加えて3つ目、「行財政改革の不断の推進」。
- そして最後4つ目、「国や市町村との連携、様々な主体との協働の推進」これらの4つの仕組みを整えて各施策に取り組んでいきます。

### **【埼玉県の目指す将来像を実現していく具体的な施策】 11分9秒～22分40秒**

任用審査課 豊泉主任

- ありがとうございます。それでは、埼玉県の目指す将来像を実現していく具体的な施策について吉田主査お聞かせください。



## 計画調整課 吉田主査

- ◇ はい、ではですね。まず、計画全体の体系についてです。
- ◇ 埼玉県が目指す3つの「将来像」と、その将来像の実現につながる「12の針路」。  
そして、「分野別施策」として、計画期間中に取り組む54の施策を針路ごとに体系的に整理しております。
- ◇ この54の分野別施策全てに、施策の進捗状況や達成水準を分かりやすく、かつ客観的に示すための数値目標を施策指標として設定しております。
- ◇ それではですね。将来像毎に針路や施策などを紹介させていただきます。
- ◇ 先ほどご紹介しました3つの将来像「安心・安全の追究」、「誰もが輝く社会」、「持続可能な成長」の1つ目、「安心・安全の追究」。レジリエンスです。
- ◇ レジリエンスには、「弾力性」や「しなやかに適応できる力」などの意味があります。
- ◇ 切迫する巨大地震や、台風・豪雨などの激甚化・頻発化する災害、テロや新興感染症など、あらゆる危機の発生を想定し、備える必要があることから、危機や災害ごとのシナリオ作成や訓練の実施などを通じて、危機管理・防災体制が再構築され、あらゆる危機がいつ、どこで起きても被害を最小限に抑えられる社会を目指します。
- ◇ また、警察・行政の対応力が強化され、犯罪や事故の発生が抑えられるとともに、県民のあらゆる生活ニーズへ支援が行き届き、誰もが不安を感じることなく暮らすことのできる社会や、医療・介護などのサービスが必要に応

じてきめ細かく提供される体制が整うとともに、地域の見守り体制が強化されることで、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を送ることができる社会を目指します。

- ◇ この将来像「安心・安全の追究」の実現に向け、「災害・危機に強い埼玉の構築」、「県民の暮らしの安心確保」、「介護医療体制の充実」の3つの針路の下、「感染症対策の強化」や「生活の安心支援」、「地域医療体制の充実」など15の分野別施策を掲げ、それぞれに「感染症専門研修受講者数」や「子供の居場所の数」、「災害時連携病院の指定数」などの施策指標を設定しています。
- ◇ 具体的な取組がわかるよう、主な施策の一つを紹介させていただきます。
- ◇ まず、分野別施策については3つの要素から構成されています。  
「施策内容」で、その施策を進める取組の大きな方向性を文章で示し、次に「主な取組」で具体的に何をやるかを箇条書きで記載。そして、施策の進捗状況や達成水準を数値で示した「施策指標」を設定する、といった構成です。
- ◇ 「感染症対策の強化」では、感染症発生時に、迅速な対応により蔓延を防止し被害を最小限に抑えるため、初動体制を整備することや、感染症対策を担う専門人材の育成に取り組むことなどを進め、感染症対策を強化します。
- ◇ 「主な取組」としては、保健所の患者搬送専用車の活用により迅速な搬送体制を整えるなど「感染症発生時の初動体制の整備」や、研修費用の補助など「感染症対策を担う専門人材の育成」などに取り組みます。
- ◇ 「施策指標」として、今回のコロナ禍での教訓を踏まえ、新たに「感染症専門研修受講者数」などを設定しました。

- ◇ 高い専門性を有する感染症対策の人材を増やすことで、感染症対応力の向上につなげていく。全入院医療機関に1人ずつの感染症対策の専門人材を養成することとし、令和8年度末までに542名の受講者数とすることを目指します。
- ◇ 次に2つ目の将来像「誰もが輝く社会」。エンパワーメントです。
- ◇ エンパワーメントには、「力をつけさせること」、「力を湧き出させること」などの意味があります。
- ◇ ポストコロナにおける新たな価値観やライフスタイル、グローバル化の進展や超スマート社会の到来など、子育て・教育ニーズの更なる多様化が見込まれることから、あらゆる子育てニーズが満たされるとともに、子供たちの学力に加えEQの向上や国際交流が進み、変化の激しい時代にあっても力強くグローバルに活躍できる人材が育つ社会を目指します。
- ◇ また、人生100年時代に備え、いつまでも健康に、いつでも学べる環境が整うとともに、ポストコロナの新しい働き方やグローバル化に対応した職場や地域が増え、全ての県民が互いの人権を尊重し、高齢者や女性など誰もが意欲と能力に応じて生き生きと活躍できる社会や、交流や活動の活発化、デジタル技術による利便性の向上など、誰もが参画しやすい地域づくりが進むとともに、文化や芸術、スポーツ、観光などがより多彩になり、県内外から人を引き付ける魅力あふれる社会を目指します。
- ◇ 将来像「誰もが輝く社会」の実現に向け、「子育てに希望が持てる社会の実現」や「未来を創る子供たちの育成」、「人生100年を見据えたシニア活躍の推進」などの5つの針路の下、「子育て支援の充実」や「多様なニーズに対

応した教育の推進」、「生涯を通じた健康の確保」など22の分野別施策を掲げ、それぞれに「保育所待機児童数」や「いじめの解消」、「健康寿命」などの施策指標を設定しました。

- ◇ 主な施策として「女性の活躍推進と男女共同参画の推進」では、ライフステージの変化に合わせ、希望する働き方を多様な選択肢から選べる環境づくりを行うことや、多様な働き方の普及拡大、一人一人の状況に応じたワンストップの支援を行うことなどを進め、女性の活躍を推進します。
- ◇ 「主な取組」としては、男性も女性も共に働きやすい職場の環境づくりに取り組む企業の認定や、男性の育休取得を促すなど、「男女ともに仕事と家庭を両立できる環境づくり」や、働く女性の様々な疑問や関心に応える総合情報サイトの運営や、女性キャリアセンターによる支援を行うなど、「女性就業・キャリアアップのワンストップ支援」などに取り組みます。
- ◇ 「施策指標」としては、「女性（30～39歳、40～49歳）の就業率」などを設定しました。
- ◇ 子育て期から子育て後に復職するまでの女性の就業率向上を図ることで、本県の持続可能な発展に向け、女性が意欲や能力を存分に発揮し、生き生きと輝ける社会を実現していきます。令和元年の全国平均（30～39歳：75.1%、40～49歳：79.2%）の水準まで引き上げることを目指し、目標値を設定しています。
- ◇ 続いて、3つ目の将来像「持続可能な成長」。サステナビリティです。
- ◇ サステナビリティには、「持続可能性」や「持続することができる」などの意味があります。

- ◇ 人口減少と高齢化の進行によってコミュニティが変化し、高齢者の孤立、交通難民の増加、都市のスポンジ化など、拍車がかかることも見込まれることから、コンパクト・スマート・レジリエントの要素を含む持続可能なまちづくりが進むとともに、公共交通の安全性、利便性が向上し、誰もが安心して円滑に移動できる社会を目指します。
- ◇ また、再生可能エネルギーの普及拡大や、分散型エネルギーの利活用などによって脱炭素社会へ近づくとともに、水やみどりを守り育む県民や企業が増え、豊かな自然に人が集まり、にぎわう社会や、デジタル技術を活用し、新たな産業の育成や中小企業・農林業者の生産性の向上などが進み、スマート化の進展による持続的な経済成長や雇用が実現する社会を目指します。
- ◇ 将来像「持続可能な成長」の実現に向け「未来を見据えた社会基盤の創造」、「豊かな自然と共生する社会の実現」、「稼げる力の向上」など、4つの針路の下、「住み続けられるまちづくり」や、「恵み豊かな川との共生」、「新たな産業の育成と企業誘致の推進」など17の分野別施策を掲げ、それぞれに「埼玉版スーパー・シティプロジェクトに取り組む市町村数」や「SAITAMAリバーサポーターズの個人サポーター数」、「企業（製造業）が生み出す付加価値額」など、施策指標を設定しました。
- ◇ 主な施策として「住み続けられるまちづくり」では、コンパクト・スマート・レジリエントの要素を踏まえたまちづくりに市町村や民間などと共に取り組むことや、都市機能の集積や居住機能の誘導に向けた効率的なまちづくりを行うことなどを進め、住み続けられるまちづくりに取り組みます。
- ◇ 「主な取組」としては、「日本一暮らしやすい埼玉」を実現するためのまちづくりに取り組む「埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進」や、安全な市街地の形成に取り組む「土地区画整理・市街地再開発事業の実施と促進」などに取り組みます。

- ◇ 「施策指標」として、新たに「埼玉版スーパー・シティプロジェクトに取り組む市町村数」などを設定しました。
- ◇ コンパクト・スマート・レジリエントの要素を踏まえたまちづくりに市町村や民間企業などとともに取り組み、暮らしやすく住み続けられるまちづくりを進めていきます。令和3年度に実施した市町村意向調査で取組意向を示した市町村において、プロジェクトに基づくまちづくりが進むことを目指し、目標値を設定しています。

### **【地域別施策】 22分41秒～27分54秒**

#### **任用審査課 豊泉主任**

- ご説明をありがとうございます。  
埼玉県全体の方向性についてはイメージができましたが、県内には都市部もあれば山間部もあります。地域によって取り組むべき内容が異なるかと思いますが、その点については杉下主査いかがでしょうか。

#### **計画調整課 杉下主査**

- はい。各地域における取り組みについてですが、地域別施策として、各地域の特性や現状を踏まえて、地域ごとに異なる課題に対して、分野別施策に示した取組を再編し、まとめています。
- 埼玉県には人口増加が続く地域から、豊かな自然に包まれた魅力的な環境にありながらも、人口減少や高齢化が進んでいる地域もあります。
- 本県はまさに、日本の縮図ともいえる多彩な地域がありまして、それが埼玉県の活力を生み出しています。

- そうした地域の活力を生かすためには、県内各地域の市町村などと連携して、産業ですとか、自然や文化などの各地域の特徴的な資源や環境を生かして、個性豊かで多彩な地域づくりに取り組むことが重要となります。
- そこで、地域区分の考え方として、県内を都心からの距離に応じて県南、圏央道、県北の3ゾーンに区分してそれぞれの特性や課題を整理しました。
- その上で、日常生活圏のまとまりですとか、鉄道や道路の交通軸などを考慮しまして、県内を10の地域に区分をしています。これらの地域が持つ特性や現状を踏まえて、それぞれの地域の課題に対して分野別施策に示した取組を再編して、「地域づくりの方向性」や「主な取組」として示しています。
- 地域別施策には、地域の現状と課題として地域の特色を表すために、4種類のグラフを掲載しています。
- まず一つ目は将来人口の見通しを表したものです。
- 例としてあげましたのは南西部地域です。こちらは県南ゾーンに位置しておりまして、朝霞市や志木市、和光市などが含まれるこの地域では、2030年ごろまで人口が増加を続けることがグラフから見て取れます。推計値としては2030年頃にピークが来て、その後減少していくことが見込まれています。また、人口に占める各年代の比率では高齢者の割合、この棒グラフで言うと白色の部分になりますが、こちらが増加をし続けることが予測をされています。
- 二つ目は年齢ごとの人口を表した人口ピラミッドです。

- 例として北部地域のグラフを表しています。こちらの地域は県北ゾーンに位置しておりまして、熊谷市ですとかや本庄市、深谷市などが含まれる地域です。こちらのグラフは左側が2020年、右側が2040年の各年齢階層の人口の分布を示したグラフとなっています。こちらは一見してお分かりのとおりかと思いますが、2040年を見ていただくと、若い世代の比率がますます低下をしていくことが見込まれております。
- 続きまして、人口関係データを県平均と比較したグラフになります。
- 人口増加率、合計特殊出生率、後期高齢化率、そして第1次、2次、3次産業の1人あたりの総生産額について、県平均を100とした場合の各地域のデータを数値でグラフで示しております。
- ここで例としてあげましたのは、川越比企地域になります。こちらは圏央道ゾーンに位置しておりまして、川越市、東松山市、坂戸市などを含んでいるこの地域においては、第1次、第2次、第3次産業、こちらの1人当たりの総生産額が県平均より高くなっていることがグラフを見てお分かりかと思えます。
- こちらの第2次産業の方に目を向けてみますと、この地域では自動車関連などの企業が立地をしておりまして、工業団地が多く存在するこの地域特性が現れたと推察できると思えます。
- 最後に年代別の転入超過数を表したグラフです。
- 例としては東部地域を上げました。こちらは先程の南西部地域と同じく県南ゾーンに位置しておりまして、春日部市や草加市、越谷市などを含んでいるこちらの東部地域では、こちらは20代を中心にですね、多くの世代で転入超過となっていることが分かります。



- こちらで転出超過となっている場合については、60～69歳、そして70～79歳のように、グラフがマイナスになって表示をされています。
- ここでは、代表的な事例をピックアップしてご紹介しましたが、この4種類のグラフを10地域毎に掲載しております。

### **【もっと5か年計画について知りたい場合】 27分55秒～28分35秒**

任用審査課 豊泉主任

- ありがとうございます。地域の特色に合わせて施策を展開していくということですね。
- お時間の都合上、すべての地域をご紹介できないのですが、もっと5か年計画について知りたい場合、地域も含めてですけれども、知りたい場合はどのようにすればよいのか杉下主査お願いいたします。

計画調整課 杉下主査

- はい、写真やイラスト入りで分かりやすくした計画書を、埼玉県のホームページで公開をしています。
- また、計画調整課や県政資料コーナー、県地域振興センターや各事務所、県立図書館などでも閲覧ができます。県のホームページでは、デジタルブックでの掲載もしておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

### **【意気込み】 28分36秒～29分5秒**

任用審査課 豊泉主任

○ ありがとうございます。最後に5か年計画の意気込みについて、竹内課長お願いいたします。

#### 計画調整課 竹内課長

☆ それでは、最後に私から一言お話しをさせていただきます。大切なことは計画を策定することではなく、そこで定められた各施策を真摯に実現していくことです。

☆ 「日本一暮らしやすい埼玉」を私たちと一緒に実現していきましょう。

#### **【求める人材】29分6秒～終わり**

#### 任用審査課 豊泉主任

○ ありがとうございます。埼玉県では新たな課題にチャレンジし成果を生み出す人材を求めています。具体的には1つ目、県民目線で県民の声を実現する。2つ目、成果を最大限重視し、実行する。3つ目、既存の殻を破り物事を考える。これらができる人材です。

○ この動画をご覧の皆様多くは、人生の節目となる就職を今後経験される方だと思います。

○ 就職先を決めることは難しいことですが、悔いのない判断をしてほしいと思います。

○ 私たちとしては、埼玉県の目指す方向性を皆様にご理解いただきたいと思います、この動画を作成いたしました。

○ 埼玉県のことを知っていただき、皆さんが、様々な会社や組織等の中から就職先を決める際に、その選択肢の一つとして埼玉県も考えてもらえれば幸いです。

○ 本日はありがとうございました。